

グルノーブル美容専門学校
学校自己評価報告書
【平成28年度】

学校法人北埼玉学園
グルノーブル美容専門学校

はじめに

グルノーブル美容専門学校は、平成 25 年から学校自己評価制度導入を図るために、自己点検部会を設立し、組織的な体制を築きました。

その後毎月、部会を行い、自己点検項目につき不備な点を拾いだし、その改善に努めてきました。

実施にあたっては、多くの方に本校の教育方針や学校運営に対するご理解をいただき、反省すべきは謙虚に受けとめ、改善努力を惜しまないことが、本校の責務であるとの認識から、法令や行政指導に従うことはもちろん、論理性と客観性を重視し、わかりやすい表現を心掛けることとしました。

今回の自己点検制度に対する学園の取り組みを、一般公開することで、学園が更に取り組むべき点を内外に問う形を図り、社会的責任を果たしていきたいと思い今回、学校自己評価報告書を作成いたしました。

今後も学校評価を計画的に実施するとともに、改善・向上に尽力して参る所存です。

学校法人北埼玉学園 グルノーブル美容専門学校
理事長 弓削 竜也
学校長 松下 郁良

平成 28 年度自己点検制度推進部会
グルノーブル美容専門学校
事務長 須藤 恵梨子

学校法人 北埼玉学園 グルノーブル美容専門学校

評価項目ごとの目標

基準 1.教育理念・教育目標

【教育理念】

社会に自立するために必要な人間力と高い専門技術を有する人材を育成し、地域社会に貢献する。

【教育目標】

教育基本法に則り、学校教育法に従い、美容並びにデザイン業務に関する知識・技能を授けるとともに一般教養を高め、有能な職業人、社会人を育成することを目的とする。

基準 2.教育活動・教育成果

- ・教育内容における専門性の点検及び今後の方向性の模索を行う。
- ・優良学生をより引き上げる特別プログラムを検討する。
- ・コンテストや資格試験など教育効果を客観的に評価できるものに挑戦する。

基準 3.学生の募集と受け入れ

- ・ビューティー・ファッション系の反応者を増やす戦略を立案する。
- ・体験入学の実施方法を検討し、体験入学からの出願率を 50%以上にする。

基準 4.教職員組織

- ・経験年数の少ない教員の指導を行う。
- ・分掌を見直し、各職員の役割分担を明確にする。
- ・企画力と行動力のある教育体制作りを目指す。
- ・生徒とのコミュニケーション能力の改善。

基準 5.教育環境

- ・校舎内外の整理・整頓・清掃に心がける。
- ・快適な教育環境の管理と今後の投資計画を検討する。

基準 6.学生支援

- ・就職内定率を 90%以上にする。
- ・新しいインターシップ先を開拓する。
- ・学生の経済的側面に対する支援が全体的に設備され、有効に機能しているか。
- ・学生寮等、学生の生活環境への支援は行われているか。
- ・保護者と適切に連携しているか。

基準 7.管理・運営

- ・教員間、職務間の連携を行うように、組織間の仕組みを構築する。
- ・運営方針は定められているか。
- ・運営組織や意思決定機能は、効率的なものになっているか。
- ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。

【評価報告】

評価方法：4(適切)から 1(不適切)の 4 段階で評価。

基準 1.教育理念・教育目票

1-1	教育理念並びに教育目標が明確に示されているか。	3
1-2	教育目標は卒業時の到達が読み取れるものになっているか。	4
1-3	教育理念並びに教育目標は定期的にみなおされているか。	4
1-4	教育理念並びに教育目標が教職員や学生に浸透しているか。	3
<p>【成果と課題】 教育理念並びに教育目標は、入学時に配布される学生便覧に記載されており、オリエンテーションや新入生フレンドシップセミナーで説明している。</p>		

基準 2.教育活動・教育成果

2-1	カリキュラムは教育目標が反映されているか。	3
2-2	定期的カリキュラムの見直しが行われているか。	4
2-3	シラバスが作成され学生に配布されているか。	3
2-4	授業の点検評価が適切に実施されているか。	3
2-5	目標に到達しない学生に対し適切なフォローが行われているか。	3
2-6	美容免許取得率の向上が図られているか。	4
<ul style="list-style-type: none"> ・学校外で催されるコンテスト等への積極的参加を奨励している。 ・当校では【退学の兆候は欠席に表れる】と捉えている。それらを早期に把握し対応する体制を構築している。 		

基準 3. 学生の募集と受け入れ

3-1	学生募集のための広報資料の表現内容並びに広報活動の方法時期は適切か。	4
3-2	入学案内には志願者が必要とする情報は掲載されているか。	4
3-3	募集要項の内容は適切か。	4
3-4	学校説明会、体験入学の時期、内容は適切か。	4
3-5	志願者状況、定員充足率はどうか。	3
<ul style="list-style-type: none"> ・体験入学からの出願率は全科平均で目標達成した。 ・募集対象者との接点が減少しているため、改善する工夫や仕組みの研究が必要である。 		

基準 4.教職員組織

4-1	専任教員は設置基準をみたしているか。	3
4-2	専任教員一人当たりの担当科目時間数は適切か。	3
4-3	教職員の業務分掌は明確になっているか。	3
4-4	教職員の能力、業務内容の評価を定期的実施しているか。	4
4-5	職員は業務が滞りなく遂行できる人数を雇用しているか。	3
・経験年数の少ない教職員への指導は、OJT 形式で対応しているものとはいえない。 今後さらに推進が必要。 ・授業記録を通して非常勤講師との連絡が密に取れた。		

基準 5.教育環境

5-1	講義室は学習を行うのに十分な面積を有しているか。	4
5-2	実習室は実習を行うのに十分な面積を有しているか。	4
5-3	講義室、実習室の管理は適切に行われているか。	4
5-4	図書は適切に設備されているか。	4
5-5	教育用機器備品は設備されているか。	4
・学校内の照明を一部 LED に変更した。 ・外観点検と総合点検を各年 1 回実施している。		

基準 6.学生支援

6-1	奨学金等、経済的支援は設備されているか。	4
6-2	学生相談、カウンセリングに関する体制が設備機能しているか。	4
6-3	各学校行事について、適切な事後反省を行っているか。	4
6-4	進路活動に関する支援が設備され、機能しているか。	4
6-5	新たな求人開拓の努力はしている。	4
・内定率は 98%、関連分野への就職率 95%以上であった。		

基準 7.管理・運営

7-1	理事会評議委員会は適時適切に開催され、機能しているか。	3
7-2	理事会、評議員会の議事録は適切に作成、管理されているか。	3
7-3	組織間、各部署間の連携は適切に図られているか。	3
7-4	非常時の危機管理に対する周知は徹底されているか。	4
7-5	個人情報保護法を遵守しているか。	4
7-6	学校の財務情報を公開する適切な体制が設備されているか。	3
<ul style="list-style-type: none">・理事会・評議委員会は定期的実施され、議事録は適切に作成管理されている。・組織間の連携は、校長会及び4つの部会【進路、研修、教育、広報】を中心に十分な連絡会議が行われている。・消防計画は毎年見直し作成している。個人情報は使用目的等を明示したうえで収集、利用、廃棄している。		

今後の課題

今回、学校自己評価報告書を作成し、いろいろと、改善しなければならい事が見えてきました。そのなかでも、高校や中学校からの進学が低下してきているという点です。やはりまだ、美容への理解が低いようで高校などの先生方が大学への進学を勧める傾向があり、学歴格差が抜けていないのが現状です。それを、改善させるには美容への理解を深めるため、定期的に高校や中学の先生方向けの講習会や説明会を実施していくことが理解を深める第一歩と考え、今後の課題として取り組んでいきたいと思えます。

次に、社会貢献の一環としてボランティア活動の強化です。

カリキュラムの消化を前提に今後、学校外教育として授業に取り入れていき地域の方々と交流することで、生徒達も成長し地域の美容文化向上に貢献できればという思いで今後の課題として取り組んでいきたいと思えます。